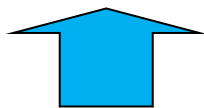


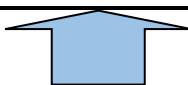
小中一貫教育 9年間の目標

社会的自立の基盤づくり  
 ～互いに磨き合い、たくましく、心豊かな人づくり～



学校教育目標

たくましく、こころ豊かに生きる子の育成  
 - 強く・正しく 仲よく (校訓) -



本年度研究テーマ

対話を通して、よりよい意見を伝えあう集団づくり  
 - 相手に伝わることの楽しさに気づく児童の育成 -

研究課題

- 前年度からの引継ぎ ・ 2部会の継続 (授業づくり・学級づくり)  
 ・ 学ぶ意義の先へ、対話の充実、自分の意見を言える子へ

☆授業づくり トリプルスタディを活用し、よりよい意見を伝える力の育成

- ◎「対話(話し合い活動)」から「伝えたい」へ ➡ 自分の意見を伝える子  
 ①自分の考えを持つ ②効果的な対話 ③よりよい意見の構築と伝える力
- ◎協働学習➡対話の型の実践・説明する活動の充実  
 ペアトーク、トリプルスタディなど話し合う場の工夫  
 講義型 < グループ討議 < 他者に伝える ※ラーニングピラミッド(記憶の定着)より  
 教師が話しすぎず、子どもに考えさせる時間(思考の時間)の確保
- ◎授業実態調査から自己の指導分析へ  
 学期末に実態アンケートを実施し、児童の授業に対する変化を読み取る  
 研究してきたことの成果が検証できる質問項目にし、指導と研究をふりかえる  
 アンケートの授業内容は各担任がフォームを作成
- ◎言語活動の充実➡言葉を大切にする子 学習用語の積み上げ  
 語彙力を広げる作文指導(言葉の宝箱の活用)
- ◎授業に向かう基本姿勢➡聞く力の向上→聞き分ける力へ 自分と比べられる子
- ◎ふりかえり、ノートの使い方➡何を学んだのか(自身の学びの変容を自覚・評価)

☆学級づくり 読む力（音読）を育てる 第1回の部会で詳細決定・報告

- ◎業前の時間に ・音読 ・読書 ・おの検対策 ・対話 を取り組む
- 朝の会8：40分から歌声タイム（火水木一斉） → 2部会検討後実施
- 朝のモジュール … 対話スキル・読書・おの検対策（基礎基本の定着）
- 読書活動の推進 … なかよし読書，ふぁみりー読書，図書活動，読み聞かせ
- 家庭学習 … 音読指導・自主学習の定着（家庭学習のすすめの活用）

自分の考えをもち、学びあう集団づくり

